

公立西知多総合病院臨床研修プログラム

(令和8年4月～令和10年3月)

■ 理念

医師としての人格を涵養し、基本的な診療能力の習得及び医師の果たすべき社会的役割の理解を通じて、当院の基本理念「すべては患者さんのために」を実践できる医師を養成する。

■ 基本方針

- 1 臨床医として必要な基本的診療能力（知識・技能・態度）を習得する。
- 2 患者さんやご家族、医療スタッフとのコミュニケーションを大切にする態度を養う。
- 3 医師としてのプロフェッショナリズムを自覚し、それに基づいた行動ができる。
- 4 チーム医療を理解することにより、他職種メンバーと協働し、質の高い安全な医療の提供に貢献する。
- 5 地域の中核病院としての役割を理解し、地域医療の現場を経験する。
- 6 最新の医療知識を学習し、科学的根拠に基づく医療を提供する姿勢を生涯にわたって続けるための礎を築く。

■ 特 色

公立西知多総合病院は、知多半島医療圏の北西部地域の中核病院として、2015年に東海市民病院と知多市民病院が統合してできた急性期病院です。この地域で治療を完結できるように32の診療科を備え、特に救急医療には重点を置いています。

当院の研修プログラムでは、基本的なスキルを習得して医師としてのスタイルとプロフェッショナリズムの確立を目指します。研修医は、救急医療の最前線でファーストタッチし、軽症からCPAの患者まで幅広い診療に携わります。また、救急以外の研修では内科、外科、小児科、麻酔科など幅広いスーパーローテーション研修を行い、将来の志望科に関わらず、ジェネラルに患者が診られるような医師を目指します。

2019年度からは放射線治療センターも稼働し、また知多半島唯一の緩和ケア病棟も設置してがん診療の幅を広げてきました。そして、2024年4月1日には、愛知県がん診療拠点病院に指定されました。

専門医制度にもほとんどの診療科で対応し、3年目以降も専攻医として研修が可能です。また、臨床能力だけでなく研究のためのスキルを磨くように指導します。院内研究会、学会発表に積極的に参加してプレゼンテーションしてもらいます。そのために文献を読み、自分で考えて発表をしていただきます。

■ 目 標

医師の初期研修として、医師としての人格を養い、患者さんを全人的に診ること及びプライマリーケアに対応できるようにすること。

■ プログラム責任者及び委員会

- 1 プログラム責任者 加藤 二郎（糖尿病・内分泌内科主任部長）
- 2 委員会名 臨床研修管理委員会
役 割 研修医の指導・評価、研修プログラム、募集要項の作成等に関すること。

■ 研修計画

1 オリエンテーション

研修開始に当たって、医師として最低限必要とされる知識を学ぶ。医師法、医療法、薬事法、療養担当規則の主な条項：公的医療制度（医療費の仕組み、健康保険等）。入院外来診療録（カルテ）及び入院概要録（サマリ）、診断書（死亡診断書、死体検案書等）、各科からの説明など

2 公立西知多総合病院における必須知識

夜間・休日・時間外・救急外来における検査・投薬オーダー法、文献検索法、当院におけるカルテシステムなど

3 研修計画の作成

研修医の希望をできるだけ尊重して研修計画を作成する。各研修医は自分の進路を考え、指定された分野を含めた2年間の割り振りを臨床研修委員長と相談して決定する。

研修期間の割り振りの一例

1 年次	4～5 月	6 月	7～10 月	11 月	12～1 月	2～3 月
	外科 救急部門	小児科 放射線科	内科	選択科 小児科	救急部門 麻酔科	内科 救急部門
2 年次	4 月	5～6 月	7 月	8 月	9 月	10～3 月
	救急部門	内科	精神科	地域医療	産婦人科	選択科

※ 臨床研修を行う分野のうち、内科（24週以上）、外科（4週以上）、小児科（4週以上）、産婦人科（4週以上）、精神科（4週以上）、救急部門（12週以上）、地域医療（4週以上：2週間ごとに分けて実施）は必修とする。（一般外来4週以上を含む）

※ 原則として、研修期間全体の1年以上は当院で研修を行うものとする。

■ 研修実施施設

施設区分	名称	研修分野・期間	研修実施責任者
協力型 臨床研修 病院	知多半島総合医療センター	産婦人科 （4週間）	岡田 禎人
	医療法人資生会 八事病院	精神科 （4週間）	小林 健一
	社会医療法人宏潤会 大同病院	産婦人科 （4週間）	野々垣 浩二
	特定医療法人共和会 共和病院	精神科 （4週間）	西岡 和郎

	医療法人寿康会 大府病院	精神科 (4週間)	岡田 寿夫
	あいち小児保健医療総合センター	小児科 (2～4週間)	鈴木 基正
	名古屋掖済会病院	産婦人科 (4週間)	北川 喜己
臨床研修 協力施設	愛知県知多保健所	保健・医療行政 (2週間)	清水 康弘
	医療法人嚶鳴会 如来山内科・外科クリニック	地域医療 (2週間)	小谷 勝祥
	医療法人メディライフ 西知多リハビリテーション病院		尾内 一如
	医療法人清樹会 知多サザンクリニック		菅江 崇
	安藤医院		安藤 啓一郎
	医療法人敬寿会 やすい内科		安井 直
	医療法人友和会 のばたクリニック		野畑 和夫
	クリニックひらまつ		平松 敬人
	糖尿病・甲状腺 加木屋たけうち内科		竹内 誠治

■ 研修指導体制

研修医にチューター制（研修医1人に対して1人のチューター：指導医師が指定され、専任指導医として全期間を通して研修の責任を負う。必要に応じて個々に指導し、研修の面は勿論のこと公私にわたり研修医を全面的にサポートしながら教育していく。）を導入し、将来の進路に近い科の指導者をチューターとする。期間割りの配属各科においては、その科の長を指導責任者に充てる。

■ 研修の記録及び評価方法

研修医の到達目標の達成は、医師及び医師以外の医療職により研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを用いて行う。これらの評価は、EPOC（オンライン卒後臨床研修評価システム）で行う。臨床研修指導医による評価結果は、EPOC上でフィードバックされる。これらの資料に基づき、年に2回、プログラム責任者との面談を実施する。なお、研修プログラムはホームページに掲載し、認定は定められた期間の研修終了後、臨床研修委員会の承認を経て院長が認定する。

■ 臨床研修の修了判定

1 臨床研修の修了基準

- ・研修期間を通じた休止日数が、上限の90日を超えていないこと。
- ・研修プログラムに定める全必修分野について、必要期間を研修していること。

- ・臨床研修の到達目標の達成度評価が、EPOC などにより全て完了し、その基準を満たしていること。
- ・臨床医としての適正評価（医療安全・法令順守等）が EPOC などにより全て完了し、その内容に問題がないこと。
- ・提出が求められている病歴要約の全てが提出され、指導・評価を受けていること。

2 臨床研修の修了認定

- ・臨床研修管理委員会で研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容から作成する臨床研修の目標の達成度判定票を用いて、研修プログラムに定める到達目標の達成が認定された時、院長に対し報告する。

■ 修了判定後の手続き

- 1 院長は臨床研修管理委員会から研修医が到達目標の達成が修了基準を満たしていると報告された場合、臨床研修修了証を交付する。
- 2 同委員会で修了基準を満たしていないと報告された場合は、その研修医に対して理由を説明し、院長は当該研修医に対して臨床研修未修了理由書を交付する。
- 3 未修了となった研修医は、原則として引き続き当院での研修を継続することとし、同委員会は修了基準を満たすための履修計画表を東海北陸厚生局健康福祉部医事課へ提出する。

■ 研修医募集定員数

6 人

■ 研修医の募集及び採用方法

1 必要書類

履歴書（写真貼付）、成績証明書、小論文を7月18日（金）までに公立西知多総合病院 企画管理課人事管理室に提出。

2 選考方法

8月5日（火）、7日（木）又は12日（火）のいずれか希望する日に実施する。院長、プログラム責任者、副プログラム責任者、看護局長との面接及び小論文により選考する。

■ 研修医の処遇

1 身 分 任期付常勤職員

2 給 与 1年次 想定年収：7, 200, 000円

2年次 想定年収：8, 500, 000円

（※手当によって個人毎に差がありますので、表示額の通りではありません。）

3 勤務時間 8時30分から17時15分（休憩時間：基本は12時から13時）

4 手当 地域手当、通勤手当、時間外勤務手当、特殊勤務手当、期末手当及び勤勉手当（手当支給額は、西知多医療厚生組合職員の給与に関する条例等

- の例による。)
- 5 宿日直 月に4回程度
当直：17時15分～翌8時30分（翌日1日休み）
日直（土・日曜日、祝日）：8時30分～17時15分
応援直：平日（17時15分～22時）、休日（13時～22時）
- 6 休暇 土・日曜日、祝日、年末年始及び西知多医療厚生組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例による年次有給休暇、夏季休暇等特別休暇
- 7 その他 宿舎あり（近隣の住宅を借上予定、自己負担額：24,000円程度）、研修医室2室、厚生年金・健康保険、病院賠償責任保険、勤務医賠償責任保険加入（包括契約方式）、健康診断年2回実施、研修参加費用負担（年間10万円）あり。

■ 関連大学

名古屋大学、藤田医科大学、愛知医科大学、名古屋市立大学の各大学との連携があり、医師の派遣、共同研究、医学部実習生の受け入れを行っている。

■ その他

研修に専念するため、当院及び協力病院以外で賃金等を得て就業することを禁止する。（アルバイトの禁止）

■ 問合せ先

〒477-8522 愛知県東海市中ノ池三丁目1番地の1
公立西知多総合病院 企画管理課人事管理室
電話：0562-33-5500 FAX：0562-33-5900
E-mail：jinji@nishichita-hp.aichi.jp